日本の滝一〇〇選

龍門滝

# かじき広報

題字　宇都宮町長

## 人口・世帯の動き

（平成５年５月１日現在）

| | |
|---|---|
| 総人口23,506人（＋264） | 出生　13人 |
| 男　10,979人（＋139） | 死亡　14人 |
| 女　12,527人（＋125） | 転入 519人 |
| 世帯数 8,507戸（＋146） | 転出 254人 |

●（　）内は前月との比較

今月は私が主役……滝サミットが盛大に

## 生命（いのち）の讃歌

――加治木で開催された滝サミットに、全国各地から訪れた。

この日の龍門滝は、晴れ舞台を演じる歌舞伎役者のように堂々と胸を張っていた。水量も申し分なかった。

その壮観さに、環境評論家の三島昭男氏も絶賛し、シンポジウムで切実に訴えた。人間は滝に学ぶべきだと。

それは、自然の摂理を見直すことである。なぜなら、人間は自然に生かされているのだから……。

生命（いのち）は滝にも宿っている。轟々（ごうごう）とほと走る滝飛沫（しぶき）に、生命の讃歌を聞いた。それは、共に生きようと、人間に語りかけるささやきなのだ。

平成５年

# 6

月号

## 今月のページ


☆滝サミット……２～３ページ　☆龍門滝まつり……４ページ
☆リサイクル総会……５ページ　☆各地区で運動会が……６ページ　☆ほたるを見る夕べ……７ページ　☆カメラルポ……８ページ　☆教育行政感謝状……９ページ　☆田の神調査に協力を……10ページ　☆椋鳩十の本……11ページ　☆おしらせ……12ページ



● No. 464　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62―2111 ●

# 滝サミット大成功!!

## 龍門滝から全世界へ発信

## 水と緑のメッセージ

宇都宮町長がコール加治木をバックに
世界へ向け水と緑のメッセージを宣言

全国滝サミットは、五月二十五日をメーンに日本の滝全国協議会加盟の二十九自治体が参加して福祉センターで盛大に開催。主催地として宇都宮町長が「龍門滝」から全世界へ向けて、水と緑のメッセージを宣言し、総会は大成功のうちに幕を閉じました。

滝サミットは二十四日から二十六日の三日間で行われましたが、二十四日夜、商工会主催による高岡公園での歓迎会で、遠くは北海道から来加されたかたがたは、眼前に雄大な桜島を望む加治木からの景観や、無数のホタル火が乱舞するようなすばらしい夜景に目をうばわれていました。

さらには、町食生活改善推進員のみなさんの二十数品に及ぶ郷土料理にも舌つづみを打ち、料理と夜景の二本立ての手厚いもてなしに酔いしれていました。

総会は二十五日、割烹よしむらにおいて理事会に続き開催され、予算案や行事事業報告の審議のあと、新たに霧島町の加盟が承認されました。

シンポジウムは午後から福祉センターで、町民ら五百人あまりが参加して開催されました。

基調講演では、環境評論家の三島昭男先生が、自然がいかに人間と密接な関係にあるかを力説。会場のみなさんは、三島先生のひたむきな自然讃歌の話に耳をかたむけていました。

シンポジウムは三島先生をコーディネーターに、田川日出夫鹿大教養部長、宇都宮町長、上野武次先生（加治木小学校教諭）、東豊子さん（グリーンコープかごしま生協顧問）、上村和巳さん（上村機設工業社長）ら五人のパネリストが「滝に学ぶ生命と自然讃歌」をテーマに熱心に討論。それぞれの立場から、貴重な意見を発表されました。

ママさんコーラスのコール加治木と野呂正和さんが、三島昭男作詩・土田啓四郎作曲（愛と死を見つめての作曲家）の自然讃歌四部作（滝の讃歌・森に抱かれて・縄文杉に捧ぐ・緑の星よ）を本邦初公開。聞き入る人たちは、心を揺さぶる自然を讃えるすばらしい旋律に感動し、自然の尊さをあらためて再認識していました。

また、特産品の展示即売、加治木まんじゅう五百個のサービスもあり、遠来のお客さんや、町内の参加者でにぎわっていました。

高岡公園で歓迎会

記念植樹

クモ合戦を実演

パネルディスカッション

# 加治木町から みどり維新の旋風を!!

環境評論家
〈基調講演〉 三島昭男氏

昔、ゲーテは「人は自然から遠のくと病気になる」と警鐘を鳴らしています。

今、人間は開発の名のもと自然をどんどん破壊し続けています。そのため、自然が身近から遠ざかり、子どもたちが自然とともに親しむ機会が少なくなっています。子どもたちが自殺したり、病気になりがちなのも、自然を遠ざけている結果なのです。自然にそむくと、われわれは心も体も病気にかかってしまうのです。

滝はいい。滝の飛沫は人間の体を健康にしてくれます。滝が水しぶきをあげる周辺は、マイナスイオンがたちこめているのです。このマイナスイオンは、人間の体をきれいに浄化する作用をもっています。また、森もマイナスイオンに満ちあふれています。私は、この森林浴とともに滝しぶきの飛沫浴も、みなさまにお勧めします。

また、さんずい編に竜と書くと滝と読みます。だから、昔から滝には竜神が住むといわれてきました。昔の人はこの滝を神とあがめ、神聖な滝に打たれ、身を清めてきたのです。滝の魂が人間を守っているのです。

このように、滝は、自然は人間を支えているのです。われわれは、自然を破壊してはいけないのです。観光も大事ですが、滝を観光のために開発することだけはやめてほしいものです。

また、屋久島の縄文杉が、世界遺産条約の候補地にあがっています。この縄文杉は、霧のたちこめる山奥にそびえ立っています。七千年を生きるこの大杉は、天地の自然を吸収し、堂々と天に息吹いているのです。

薩摩の偉人西郷隆盛が愛した「敬天愛人」という言葉があります。いい言葉です。天を、自然を敬い、人を愛するということです。この西郷さんが、明治維新を起こしました。その後、経済維新により日本は、世界に誇る経済大国に成長しました。みなさん、この龍門滝から第三の維新を起こしてください。

自然を守るため、私は期待します。

この龍門滝のある加治木町から世界へ向け、みどり維新の旋風が巻き起こることを。

野点で接待

滝に抱かれて

最後に、宇都宮町長が全世界へ向け「龍門滝から水と緑のメッセージ」を朗々と宣言。

加治木から発信した「みどり維新」の光は、全世界の野山を矢のように駆け巡り、地球を緑のベールに包み込み、美しい自然をよみがえらせると期待しています。

レセプションでは、ひと月早いくも合戦の実演が行われ、みなさんは、めずらしいくもの戦いを目を皿のようにして見入っていました。

閉会式は二十六日龍門滝温泉で行われ、滝を前に記念植樹や野点が催されたり、沢崎菊男さんのポニー馬による「馬踊り」が披露され、総会の締めくくりに花を添えました。

参加されたみなさんは、加治木独特のユニークなくも合戦や馬踊りの歓待に喜びもひとしおの様子で、「ありがとうございました。大変すばらしいでした」と滝が結ぶ、人と人の出会いに感激していました。

# 二千人余りでにぎわう
## かじき龍門滝まつり

ミス滝姫の二人

第四回かじき龍門滝まつりは六月六日快晴のもと開催され、龍門滝は終日二千人余りの人でにぎわいました。

龍門滝は、五月二十五日に全国滝サミットを終え、一息つく間もないほどの売れっ子ぶり。この日は一転して、よそおいも新たに、滝祭りを楽しんでいました。

今年のミス滝姫は、ともにスリムな身体の朝日町の内田裕子さん（二十歳）と、本町の永井由美子さん（二十一歳）。二人とも晴れの舞台にいささか緊張気味でしたが、笹山実行委員長から認定証が手渡されると、会場にニッコリほほえみかけていました。

午前中行われた、ウォーキング大会には七十七組二百十八人、健康一万歩コースには百二十人が参加。それぞれ花火を合図に、さわやかな汗を流しました。

マスを一千匹放流した雲水峡には、早朝から子ども連れの太公望らがおおぜい押しかけていましたが、美しい渓谷の景観を尻目に、みんなの目はウキに釘付けになっていました。

また、川をせきってのコイのつかみ取りもあり、三十匹以上もある大緋ゴイをつかまえた子どもは得意満面の表情。しかし、帰りはコイを入れたビニール袋を重そうに引きずっていました。

そのほか、アユつりやウナギのつかみ取り、見る人の魂をつき動かすような蒲生の太鼓坊主、女性演歌歌手の歌謡ショーも行われ、会場は祭り一色に包まれていました。

最後の楽しみは、何といっても抽選会。会場は、高級カメラが当たるとあってか、真剣な眼差しで見守る人の熱気でムンムン。司会者の「千九百……」という千九百番台の大当たり続出に、ためいきの渦が巻いていました。

今や、龍門滝は加治木の顔。滝サミットの余韻を押しとどめた龍門滝に、遠くは鹿児島市、国分市などからの人が多く訪れ、まつりは大盛況に終わりました。

## かじっガラス

▼滝サミットが無事終了した。

全国から参集した六十人あまりの関係者は、加治木町の手作りの歓待に満足げな様子だった。

▼さて、二十四日高岡公園で開かれた「町民歓迎の夕べ」のひとときのこと。

この日は、小山田の山下一男さんら手作りの孟宗竹製「とっくり」と「おちょこ」で遠来の客をもてなした。

接待役の町職員が、地元の客に「どうぞ」とおちょこをすすめ、竹のとっくりで正中を注いでいた。すると、急に相手が顔をしかめ「うん、こいはキじゃっど」と一言注文。このとき、すかさず職員が「いや、これは竹ですよ」――（？）。

それを、横目に見ていた遠来の客はキョトンとした顔付き。地元の人にはそのシャレが通じた様子だったが、それでも「うんにゃ、こいはキじゃっど」となかなか譲らない。そこで、職員は不審に思ったか、おちょこを受取り一口にあおった。

その途端、「あっ、こいは本当にキじゃった」――。

この木違いならぬ生違いに、シャレを飛ばした職員も赤面の至りだったが、それでも意地をつらぬき通したか、後で一言のたまった。

「これは、キ（生正中）をキ（生正中）で割ったもんですから……」

### サミットは
### お国ことばで花ざかり
### 正中割の味は？

▼都市では酒が主流だが、酒は割らない。また、灘の生一本というのもあるが、生（キ）とあらたまった表現はしない。

滝サミットで、いろいろな地方の言葉が飛び交い、歓迎会やレセプション会場は、いろいろな地方独特のアクセントが渦巻いていた。

その間合いや響きに、あらためて言葉に支えられた地方文化のすばらしさを垣間見た思いがした。

# 捨てればゴミ 分ければ資源

## リサイクル連絡会総会

第三回町リサイクル連絡会総会が五月二十一日福祉センターで開催され、四年度の活動状況発表や決算の承認、五年度の予算などが審議されました。

リサイクル連絡会（中元邦利会長）が動きだしてから、今年で三年目。その間、八回の資源ゴミ回収を行い、その結果、子供会や老人会などの団体が積極的に資源ゴミに取り組むようになりました。

一方、八月からゴミ袋が指定されることになりましたが、これはゴミ出しのマナーもさることながら、家で資源ゴミと分類し、燃えるものは焼き、燃えないものだけを捨てるというリサイクル啓発運動を含んでいます。

今、国際的に重視されるゴミ問題。日本の大都市でも、ゴミ出しに使用料を徴収することも検討されています。

みなさん、今一度、考え直してみましょう。

熱心に討議

# 町政に役立っています

## サマージャンボ宝くじ

### 一等一億二千万円

今年も、サマージャンボ宝くじ（市町村振興宝くじ）が発売されます。

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりと、災害対策等の公共事業等の資金として融資されています。

本町でもここ五年間に、八千万円ほどの融資を受け、平成四年度は県単独農業農村整備事業（牟礼前地区・新開地区農道舗装、本丸地区かんがい排水）を行いました。

サマージャンボ宝くじは、一等六千万円（一八〇本）、前後賞と合わせて一億二千万円、さらに、ビッグレジャー賞として五百万円（二二五〇本）が用意されています。

この宝くじは、予約制で七月二十二日（木）から開始されます。申込み方法など詳しいことは、六月二十九日（火）の夕刊または、六月三十日（水）の朝刊紙上に発表されます。

農道改良に役立っています

# 九電加治木営業所が新装

## コミュニティールームを気軽にご利用ください

九州電力㈱加治木営業所の庁舎は三階建ビルに新装され、四月一日港町にオープンしました。

この建物は、氷蓄熱式空調設備や、太陽光発電設備を試験的に採り入れるなど、最新式の技術を駆使して建築されたレンガ色のビルで、延床面積は二七七一、八九平方㍍。

特にこの庁舎は、「電気知識などの生活情報発信基地」としてお客さんに利用してもらおうと、地域のアーチストや趣味の会などの作品展示場や会合等に使用できるふれあいの場・コミュニティルームが設置（四四・一〇平方㍍、約一三坪）されています。

無料ですので、お気軽にご利用ください。なお、原則として月～金曜日に貸し出します。

また、九電では六月を環境月間に指定し、「加治木町を緑豊かな街にしてください」と六月三日、下原洋士所長が下楠薗助役に樹木の目録を贈呈しました。

町では、さっそく町立母子寮にツツジ、サザンカ、椿、銀杏の十八本を植樹しました。

レンガ色の新庁舎

# 試行期間中のゴミ出しも町の指定袋で!!

ゴミ袋は、八月から本格的に町指定のものに限定されますが、この試行期間中も、先ほど配布した町指定の袋をご利用ください。

町内を見回ってみますと、随所にまだ黒い袋が目立ちます。

みなさん、ご協力をよろしくお願いいたします。

# おばあちゃんがトップ

## 木田第二地区運動会

木田第二地区公民館（牧角圭市館長）の運動会は五月九日、晴れ渡った青空のもと加治木小学校で行われました。

二地区の運動会の歴史は古く、町内の公民館主催運動会の先駆け的な存在。初めは春先、田んぼで行われていましたが、今では天候の関係で五月の第二日曜日、加治木小学校で実施されています。

この日は、もうすぐ七十歳という西平田ハツエさんが、五十歳前後の女性選手に交じって、悠々とトップでバトンを手渡すと、各テントから万雷の拍手。少しテレながらも、胸を張って帰る光景がほほえましく、みんなは、楽しいひとときを過ごしていました。

この運動会を合図に、二地区は一面の田んぼが草色から土色に変色し、忙しい農繁期を迎えることになります。

綱引きにおおぜい参加

# 子どもの健全育成を

## 木田第三地区運動会

木田第三地区公民館（瀬戸口喜敏館長）では五月十六日、加治木小学校で運動会が行われました。

小学生や中学生は、心に残る地域行事にと自ら進んで参加。地域優先と各種競技や役員などの係も引受け、充実した運動会が展開されました。

このような地域行事を開催するには、他からの寄付金等一切受けず、当初予算で計画することが公民館としては大事。このように運用され、運動会も今年で八年間続き、地域に定着してきました。

運動会が終わると、今度は夏祭りの準備です。子供会のみこし作り、壮年（若駒会）のみこし作りと、新生町は昼も夜も、地域の活性化と住民の親睦のため活動しています。

おめでとうございます

応援もハデに

# 龍門滝周辺をきれいに

## 九電加治木営業所

九州電力加治木営業所は五月十二日、町観光協会や役場職員とともに、全国滝サミットを前に、龍門滝周辺の倒木や雑木の伐採、草刈りなどを行いました。

これは、九電が毎年行っているクリーン作戦の一環で、参加した五十人余りの人たちは、滝に備えられた照明器具の清掃を中心に、チリや空きカン拾い、滝の周辺の美化作業に汗を流しました。

このおかげで、二十五日開催された全国滝サミットの参加者は、きれいに刈り込まれた龍門滝の姿に感激していました。

ごくろうさまです

# 中元邦利さんに

## 環境衛生功労賞

## 東脇正徳さんと

## 岩原西自治会も受賞

岩原西の中元邦利さんが、五月二十八日鹿児島市の市民センターで開催された鹿児島県衛生自治団体連合会の総会で、環境衛生功労賞を受賞、また、五月二十六日加治木保健所で開催された同連合会の加治木支部総会で、個人の部で東脇正徳さん、団体で岩原西自治会がそれぞれ表彰されました。

中元さんと東脇さんは、ともに長年、リサイクル活動などを通して、地域内はもとより町内全域の環境衛生改善に尽力されてきた方で、今回その功績が認められたものです。

また、岩原西自治会は、生活環境浄化実践運動のモデル地区として、中元邦夫自治会長をはじめ、地区民一体となって環境浄化を実践してきました。

# ほたるの舞に感激

## ほたるを見る夕べ

「ほたるを見る夕べ」が五月十五日、上木田の隈姫神社下の用水路を中心に行われました。

筋ジスの人たちも感激

県ほたるを育てる会の上野武次会長は「三回目の今年は、低温の関係で育成に影響が出たせいか、数は例年の三分の一程度です」とほたるの成育率に悲嘆の色は隠せない様子。それでも、訪れた五百人余りの親子連れらは、淡い緑の光に包まれ、すーと葉陰を飛び立つほたるの舞にすっかり魅了されていました。

また、あくる二十六日、加治木町ほたるを育てる会（鹿倉末雄会長）が、南九州病院の筋ジス病棟の患者十人を招待。約四十人のボランティアに付き添われた患者らは、ほたるの乱舞に酔いしれ、自然のあやつる生命の不思議さに感動していました。

# ボランティア介護大学

## 南九州病院

国立療養所南九州病院では、拍車のかかる高齢化社会に対応するため、一般家庭の人を対象に、ボランティア介護大学を開校しました。

これは、五月十七日を皮切りに七月五日までの間に八回（二十時間）の講義を行うもので、二十七人の受講生は、先生の講義に熱心に聞き入っていました。

福永秀敏副院長は「全国の国立病院では初めてでしょう。地域に開かれた病院をめざすとともに、介護ボランティアの育成ができれば……」と話していました。

今や、老人福祉や障害福祉は、施設ケアから在宅ケアに変わりつつあり、介護ボランティアの演じる役割は大変大きいのです。みなさん、がんばってください。

熱心なまさざしで

於里子供会

# 於里子供会と西倉厚さんが表彰

## 姶良地区子連総会

姶良地区子供会育成連絡協議会総会が五月十八日国分市民会館で開催され、その席上、団体で於里子供会、個人で西倉厚さんが表彰されました。

於里子供会は、高齢者とのふれあいを中心とした、地域ぐるみの子供会活動が評価されたもので、また、西倉さんは、昭和五十三年から現在まで、柁城校区子連副会長として十五年間にわたり子供会育成に尽力されたものです。

西倉厚さん

# 網掛川流域を清掃

## 町建設同志会

町内の建設業者で組織する町建設同志会（岩澤英美会長）は六月四日、網掛川流域や湯の谷川、木田川でクリーン大作戦を展開しました。

この日は、奉仕作業として、三十三社（百二十人）が弁当持参で参加。川の中州などを何台もの草刈り機がフル稼動し、刈った草が山のように溜まると、ユンボが道路へ持ち上げてダンプに次々と積込んでいました。

建設同志会のみなさん、ごくろうさまでした。

みるみるうちにきれいに

カメラ・ルポ

# 田代勉さんら二十人を表彰

## 町内優良従業員

町優良従業員表彰式は、五月二十一日開催された町商工会通常総会の席上行われ、田代勉さんら二十人の方に表彰状が贈られました。

表彰された方々（敬称略）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 田代　勉 | ㈲中間モータース | 31年 | 16年 |
| 米満　俊昭 | 佐藤産業㈲ | 23年 | 15年 |
| 荒川香代子 | 明治生命加治木営業所 | 20年 | 13年 |
| 河口　守 | 第一交通産業㈱加治木営業所 | 12年 | 12年 |
| 田上　功 | 〃 | 12年 | 12年 |
| 山下　實 | 〃 | 18年 | 14年 |
| 南　春雄 | 九州建設機械販売㈱ | 19年 | 18年 |
| 山口　次男 | ㈱吹上工業 | 16年 | 14年 |
| 田中　辰巳 | ㈱山藤建設 | 15年 | 14年 |
| 前村　政治 | 〃 | 17年 | 14年 |
| 向江脇　功 | 〃 | 14年 | 14年 |
| 向江　透 | 第一建設㈱ | 14年 | 14年 |
| 林　岩男 | タイヨー加治木店 | 24年 | 18年 |
| 日高タミ子 | 南国生コンクリート㈱ | 15年 | 15年 |
| 立元　健治 | 松藤商事㈱加治木営業所 | 15年 | 15年 |
| 鈴木　貞子 | ㈲林酒店 | 13年 | 13年 |
| 山口ミツ子 | 加治木産業㈱ | 12年 | 12年 |
| 藤元　敏江 | 〃 | 12年 | 12年 |
| 宮路ミドリ | 東洋舎ドライ | 14年 | 14年 |
| 横山　幸男 | ㈱岩澤組 | 18年 | 18年 |

新納徳子さん

# 新納徳子さんが受賞

## 公衆衛生事業功労賞

町保健婦長の新納徳子さんが県公衆衛生事業功労賞を受賞され五月六日、宇都宮町長から伝達されました。

これは、四月二十七日県医師会館で開催された第三十二回鹿児島県公衆衛生大会の席上表彰されたものです。

おおぜいが参加

松田アサ子さん

スズランをありがとう

# スズランをありがとう

## 全日空鹿児島空港支店

全日空鹿児島空港支店は六月三日、前日北海道で集荷された産地直送のスズランの花を、今年も南九州病院の患者らに贈りました。

今年は、筋ジス病棟のほか、同病院内にある加治木養護学校にも配布。筋ジス病棟には百本のスズランを用意し、清純さを感じさせるスズランを、スチュワーデスが一人ひとりに手渡すと、患者の加治屋智美さん（九歳）が「鹿児島に咲かないスズランの花を毎年ありがとうございます」とハッキリお礼を述べました。

# 松田アサ子さんが優勝

## 日本吟剣詩舞県コンクール

町文化協会所属で岳星会々員の松田アサ子さん（四十八歳）が、五月九日開催された㈶日本吟剣詩舞振興会主催の鹿児島地区コンクールで見事優勝されました。

近く、中央大会に出場されます。おめでとうございました。

# 優勝は新中チーム

## さわやか少年少女グラウンドゴルフ

第十六回町子ども会育成連絡協議会「さわやか少年少女グラウンドゴルフ大会」が五月十六日、三十七チーム二百六十人が参加して町営運動場で行われました。

成績（敬称略）

〔団体〕優勝…新中▽二位…上木田A▽三位…楠園A

〔個人〕優勝…新田裕人（岩原東A）▽松吉大作（柳田C）▽平山公子（下浜・中浜A）▽迫知弘（札立）▽古賀美穂（東塩入B）▽新田裕人（岩原東Aスコア・45）▽二位…英理一郎（新中・45）▽三位…有馬稔（西塩入・50）

〔ホールインワン賞〕浜屋敷紗都子（下新道女子）▽前原さとみ（楠園B）▽新田裕人（岩原東A）▽松吉大作（柳田C）▽平山公子（下浜・中浜A）▽迫知弘（札立）▽古賀美穂（東塩入B）

# 大宮路仕さんが特別表彰

## 民生委員

長年民生委員・児童委員をつとめられた、辺川下の大宮路仕さんに五月二十五日、厚生大臣の特別表彰式が伝達されました。

大宮路さんは、昭和四十九年十二月一日から平成四年十一月三十日までの十八年間、地元辺川や一部西別府地区の地域福祉の向上に尽力され、昨年十一月に勇退されました。

現在、町の民生委員・児童委員は三十七人。それぞれ各地域を担当し、地域福祉に尽力されています。

# 条例を一部改正

## 姶良郡西部消防組合

姶良郡西部消防組合の火災条例の一部が改正されました。主な改正点は次のとおりです。

第一に、火を使用する設備の火災防止として

① 石油ストーブや電気ストーブなどの設備については、立ち消え安全装置、過熱防止装置などの安全装置付の構造であること。

② ダクト火災などを防止するため、厨房設備に附属する排気ダクトや天蓋は、耐食性及び強度のある不燃材料を使用すること。（一般家庭においては、通常使われている程度のものは、その限りでありません。）

第二に、火の使用制限に関し

① 消防長が指定する文化財等の内部や周囲は、禁煙とすることができる。

② 空家の所有者・管理者は、侵入防止の施錠、周囲の可燃物の除去やその管理をすること。

③ 自動車の解体などの溶断作業を行うときは、事前に周囲の燃料等の可燃物を除去し、消火用具を準備すること。

第三に、避難管理について

① 非難口の施錠装置は、非常時に自動的に解錠でき、また屋内から容易に解錠できるものであること。

平成五年四月一日施行

※詳細は、姶良郡西部消防組合まで ☎六三―三二八七

火の用心

ごくろうさまでした

おめでとうございます

# 中央一チームが優勝

## 町老連ゲートボール大会

町老人クラブ連合会（竹下利行会長）のゲートボール大会が六月一日役場グラウンドで行われ、中央一チームが優勝しました。

〔成績〕

優勝…中央一チーム
二位…木田第二チーム
三位…西浦チーム

心根（シネ）をこめて

# 乙須前教育長らに感謝状

## 町教育委員会

町内の学校で、加治木町の教育振興に貢献され、このほど退職された六人の方に六月十日、町と教育委員会から感謝状が贈られました。

長い間、たいへんご苦労さまでした。

プロフィール

〔**乙須初男先生**〕

加治木町教育長として、昭和五十八年一月一日から平成四年十二月二十五日までの約十年間勤務。

〔**今吉晃先生**〕

校長として、平成二年四月一日から平成五年三月三十一日までの三年間、竜門小学校に勤務。町体育推進委員会々長等を歴任。

〔**森園盛義先生**〕

校長として、昭和六十三年四月一日から平成五年三月三十一日まで

での五年間、柁城小学校に勤務。町教育会長等を歴任。

〔**浦脇峰先生**〕

教諭として、昭和五十三年四月一日から昭和五十九年三月三十一日まで永原小学校、平成元年四月一日から平成五年三月三十一日まで柁城小学校にそれぞれ勤務。柁城小学校では、教科主任や保健主任等を担当。

〔**福本昌弘先生**〕

教諭として、昭和六十年四月一日から平成五年三月三十一日まで錦江小学校に勤務。学年主任や教科主任を担当。

〔**鷲山浩一先生**〕

教諭として、昭和六十一年四月一日から平成五年三月三十一日まで、加治木中学校に勤務。保健主任や教科主任、学年主任を担当。

# 「田の神」調査にご協力を！

## 町郷土館

田の神は、旧薩摩藩領にしかない独特なもので、豊作祈願のため作られた石仏です。県内には、約二千体あるといわれています。

町内では、過去の調査により次のとおり四十二体の「田の神」が確認されていますが、まだ幾体か存在しているのではないかと思われます。

そこで町郷土館としては、今回正確な調査を実施することにしました。このほかに、田の神をご存知の方がありましたら、ぜひ郷土館までお知らせください。みなさまのご協力をお願いします。

★郷土館　☎六二―二六〇五

### ◎　現在分かっている加治木町の「田の神」

| 番号 | 田の神 | 型 | 場所 | 年号 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 日木山 | 田の神舞型 | 里上　山元嘉吉氏宅門前 | |
| 2 | 日木山 | | 里下　末永氏宅内 | |
| 3 | 吉原 | | 保育園東土手 | |
| 4 | 吉原 | | 今村鉄枝氏屋敷内 | |
| 5 | 吉原 | | 楠森浩二氏宅内（持ち廻り） | |
| 6 | 小陣 | 田の神舞型 | 公民館内 | |
| 7 | 小陣 | 田の神舞型 | 福永和則氏宅内 | |
| 8 | 於里 | | 加治木高校北側加藤氏と東隣境 | 安永３年 |
| 9 | 田中 | | 公民館庭 | |
| 10 | 田中 | 田の神舞型 | 公民館内 | 昭和14年 |
| 11 | 川原 | | 外村武夫氏宅内 | |
| 12 | 西反土前 | | 竹下橋より２番目の北へ上り道、三文字 | 明治33年 |
| 13 | 西反土後 | | 今薗光夫氏宅内（持ち廻り） | 文政元年 |
| 14 | 高井田 | | 公民館玄関前 | |
| 15 | 上木田 | 神像型 | 隈媛神社前 | 明治４年 |
| 16 | 上木田 | 田の神舞型 | 穂森優氏宅内（持ち廻り） | 昭和14年 |
| 17 | 中福良 | | 岩穴口操氏宅内 | 文化２年 |
| 18 | 楠園 | | 今西実氏宅内 | |
| 19 | 楠園 | | 〃 | |
| 20 | 楠園 | 田の神舞型 | 公民館内 | |
| 21 | 西ノ原 | 田の神舞型 | 公民館入口 | |
| 22 | 新中 | 田の神舞型 | 公民館庭 | |
| 23 | 新中 | 田の神舞型 | 〃 | |
| 24 | 弥勒 | 田の神舞型 | 〃 | |
| 25 | 岩原東 | 神像型 | 浜田兼春氏屋敷内 | |
| 26 | 中野 | 田の神舞型 | 永吉篤則氏宅内 | |
| 27 | 長谷 | 田の神舞型 | 伊福春男氏宅内（持ち廻り） | |
| 28 | 徳永 | | 大井亀神社下、田の畦 | 安永８年 |
| 29 | 迫 | 神像型 | 公民館庭 | 安永10年 |
| 30 | 中郷 | | 新開入口、田の畦 | |
| 31 | 石野 | 墓石型 | 石野と伊部野の間 | |
| 32 | 菖蒲谷 | | 菖蒲谷入口 | 明治44年 |
| 33 | 菖蒲谷 | 神像型 | 菖蒲谷入口（首なし） | 寛保元年 |
| 34 | 菖蒲谷 | | 〃 | |
| 35 | 菖蒲谷 | | 〃　（首・胴体なし） | |
| 36 | 桑迫 | 田の神舞型 | 公民館庭 | |
| 37 | 辺川 | | 農協手前の橋の口 | |
| 38 | 堤水流 | | 向江豊次氏宅庭 | |
| 39 | 伊部野 | 墓石型 | 伊部野の田の土手 | |
| 40 | 弥勒 | 菩薩？ | | |
| 41 | 弥勒 | | 中川国治宅 | |
| 42 | 須崎 | | 白浜新宅 | |

## 本の十鳩椋 (22)

# 山の民とイノシシ

椋鳩十著（一、二〇〇円）
童心社発行

椋鳩十は、野や山に生きる動物たちを、できるだけくわしく調査研究し、あるがままの動物の生態を、物語として書くことにつとめた。

また、動物と人間とのかかわり合いを書いた作品においても、共存することがどんなにだいじかということを、いつも念頭においておられたということは、椋鳩十の作品をある程度読んでいる人は、うなずけることであろう。

「山の民とイノシシ」は、今から二十年くらい前の作品である。それは、鹿児島県、宮崎県、沖縄県の山の民とイノシシの物語である。

宮之城町泊野、宮崎県東米良村、志布志町四浦、霧島山渓、栗野岳、沖縄の石垣島、名護などの地のかりゅうどの体験談にもとづいて、椋鳩十独特の書きっぷりで読者をひきつける。

さて、椋鳩十は、どんなことを言いたかったのだろうか。

山の民は、自分たちが生きるためには、山の斜面を切り開いて畑とし、作物をつくらなければならない。

生活の場をせばめられたイノシシは、山の民の畑をあらす。

人は、イノシシの害をふせぐことを考えなければならない。

一方、古い古い時代から、イノシシは、山の民にとっては貴重な栄養源であり、また高いねだんで売れる。それで、山の民は、イノシシを追っかけまわる。

こういうように、山の民とイノシシとのかかわりあいは、大昔から続いている。

椋鳩十は、この大昔から続いているかかわりあいも書きたかったろうが、もっともっと深いものを読者に訴えたかったと思う。

では、それは、何だろうか。と考えながらもう一回読んでみると、次のことに気づくであろう。

人間はふしぎな能力を持っている。動物も、それぞれの動物がふしぎな能力を持っている。

そういうことを見つめていくと、大自然の神秘さに心をうたれる。

「山の民とイノシシ」は、そういうことを味わわせるであろう。

〈解説　椋鳩十文学記念
館長　榎薗高雄〉

## 加治木文化財ウオッチング (8)

# 加治木の「田の神さあ」

りりしい上木田の田の神

田の神さまには、それぞれ二千年余りの稲作文化を担ってきた農民と、それをいつくしみ支えてきた石仏の魂がこめられています。

貧しい生活の中に、なけなしの財布をはたき、少しでも実りが多いようにとの祈りを込め、農民は田の神を建てたのです。

戦後は信仰心が薄れ、通りすがりの人が手を合わせることも稀になりました。きわめて残念なことですが、今、路傍の片隅で、幾年変わらぬ田の神さあは何を考えているのでしょう。

昔は、米百五十石（一石は十斗、現在の三十㌔俵は約一斗九升）に一体、あるいは千石に一体の割合で建てることになっていたらしく、だいたい農家二十戸に一つはあったといわれています。町内にも、以前は相当数あったようですが、現在はだいぶ少なくなっています。

もともと、田の神の信仰の中には「田の神さあおっ盗い」といって、豊作だったよその集落の田の神を盗んできて、自分たちの田んぼのあぜに据えていたようですが、昨今は、金目当てに盗む人もいるようで、心なしか硬い表情の下に、あわれみと悲しみを漂わせているような気もします。

現在町内には、四十二体の田の神が点在しています。これらの田の神さあの中で、上木田と迫公民館、岩原東のものは正装した神像型ですが、伊部野と石野のものは、長方形の石にただ「田の神」と彫ってあるだけのものです。また、田の神には田のあぜに据える大きなもののほか、「田の神講」といって、毎年各農家を持ち回りする、小ぶりのものがあります。

ほほえむ日木山の田の神

木田の隈姫神社前のものは、端正な姿勢におだやかな表情をしのばせ、神像型座像の田の神では最も古いもので、昭和四十三年県の指定文化財になっています。また、日木山の山元眞子さん宅前のものは、その愛らしい表情が有名で、昭和五十九年東京新宿のデパートの「ほほえみの石仏展」に並べられ、「約二千体ある鹿児島県内でも最高傑作」との折り紙をつけられたほどです。

現在、郷土館で田の神の調査を実施しています。

ほかに田の神をご存知の方はありませんか。ご協力をよろしくお願いいたします。

# 1993 6 おしらせ

## 親子映画鑑賞会

〔福祉センター〕

日時　7月10日（土）14時
映画　①一休さん
（大暴れやんちゃ姫）
②二宮金次郎

日時　8月7日（土）14時
映画　①ダンプのお母さんと六人の子どもたち
②一寸法師

〔椋鳩十文学記念館自由の館〕

日時　7月25日（日）10時
映画　①がんばれ！盲導犬サーブ
②よわむし太郎
③動物村のリトルインディアン

日時　8月22日（日）10時
映画　①祭り太鼓
②ゆきちゃん今日は
③うそつきの羊飼い

主催　加治木町親子映画会
※無料ですので児童・生徒・親子多数ご鑑賞ください。
（都合によりフィルムを変更することがあります。）

## 郵政職員募集中

## 写真コンクールも募集！

九州郵政局では、九州各地の郵便局の郵政職員（外務員）を募集しています。

一、採用人員　南九州地区55人
二、資格　昭和38年4月1日から昭和53年4月1日生まれの方。
三、仕事の内容　郵便物の配達・取りまとめ、郵便・貯金・保険の各種商品の販売等
四、募集期間　7月1日(木)～15日（木）
五、一次試験日　8月22日（日）

◇　◇

また、かんぽ資金まちづくり写真コンクールの作品も募集しています。

一、テーマ　郵便局の簡保資金の融資で作られた建物又は、簡易保険保養センター等を題材にしたもの。（加治木郵便局にお問い合わせを）
二、作品の大きさ　カラー、白黒ともにキャビネット判以上四つ切り以下
三、作品の受付　加治木郵便局
四、締切り　8月31日（火）
五、発表　10月下旬

※詳しくは、加治木郵便局へお問い合わせください。
☎六二―二四一一

## うぶ声

出生児　保護者　自治会

野間　浩太　浩一郎　下浜
内村　恋　照夫　明神
向江　真由　哲郎　中央
蓑毛　宏樹　博則　蔵王団地
有馬斗茂哉　純弘　蔵王団地
池上　正瑛　輝樹　札立
本田　展章　知章　原ノ門
山元　裕美　裕二　春日団地
村岡　俊祐　美裕　西反土前
村岡　亮祐　美裕　西反土前
竹井　涼　裕治　柳田
蒲地　真帆　浩二　原ノ門
前田　顕　春美　赤坂
向江　咲　隆一　郁文館住宅

▽五月二十日までに住民台帳に記載された分を掲載いたしました。

## 無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。
お気軽に御相談下さい。
秘密は、固く守られます。

郡山政弘　木田一六三一―一（☎63―3585）
中摩多美子　反土二七五六（☎62―2768）
篠崎利治　木田四二四二（☎63―5175）

## 御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　山下エイ子（夫冨好六八）
麓
三万円　下浜　重トリエ（夫　成實七八）
五万円　永原　内村敏幸（母　スカ八四）
三万円　岩原西　有村佳代（母　睦子六六）
五万円　下新道　上園一男（妻ミヤ子七六）
五万円　垂ノ口　中園キミ（夫　正吉八〇）
七万円　東塩入　宅間初雄（妻　キヨ八三）
二万円　今町　梅田三朗（叔父　濱田清志五五）
五万円　吉原　山下アリ子（母サナエ九六）
十万円　端山　山元ミサヲ（夫　勲八八）
五万円　下浜　桃木野靖（母美智子五三）
二万円　萩原　染川忠宣（義母　萩原美和子七八）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　下浜　重トリエ（夫　成實七八）
五万円　吉原　山下アリ子（母サナエ九六）

＝町老人クラブ連合会へ＝

三万円　東塩入　宅間初雄（妻　キヨ八三）
三万円　端山　山元ミサヲ（夫　勲八八）
三万円　萩原　染川忠宣（義母　萩原美和子七八）

▽五月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

## 平成5年7月在宅医表

| | | |
|---|---|---|
| 4 | 玉利医院 | 内科・皮膚科<br>加治木町本町118<br>☎62－2328 |
| 11 | 松元医院 | 内科<br>溝辺町有川231<br>☎59－2823 |
| 18 | 壱岐内科 | 内科・小児科<br>循環器科<br>加治木町諏訪町196<br>☎62－2222 |
| 25 | 佐藤医院 | 内科・小児科<br>溝辺町有川327-2<br>☎59－2607 |

※　診療時間は午前9時から午後5時まで。（原則として）
※　当日の往診ならびに緊急以外の受診は御遠慮ください。